

科 目 名	医療分子薬学特論Ⅲ				
担当教員名	教授 佐藤 雅彦 教授 河村 好章 准教授 李 辰竜 講師 富田 純子	単位数	2 (90分授業 15回)	配当学期	秋学期
講義の概要	<p>ヒトの健康に対して悪影響を与える環境有害因子の中で、有害金属類であるカドミウム、水銀、ヒ素および鉛に焦点を絞って、環境汚染並びに健康被害に関する現状、毒性発現分子機構、および有害金属類に対する生体防御機構について、最新の研究情報を含めて講述し、環境衛生学研究が果たすべき役割とその重要性について解説する。また、多くの感染症を引き起こす微生物の分類同定方法から病原微生物の取扱の実際、さらに現在世界的に問題となっている薬剤耐性問題、新興または再興の感染症問題について理解し考察する場とする。また感染症の原因を「個」の微生物ではなく「集団としての微生物叢」として捉え解明する新しい考え方について解説し、考察する場とする。</p>				
講義の内容・スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境有害因子の健康影響評価とその対策 2. 世界に広がる有害金属類（カドミウム、水銀、ヒ素、鉛）汚染と健康被害 3. カドミウムの毒性発現分子機構 4. 水銀の毒性発現分子機構 5. ヒ素の毒性発現分子機構 6. 鉛の毒性発現分子機構 7. 生体内防御因子としてのメタロチオネインの役割 8. 疾病予防とメタロチオネイン、総括 9. 微生物分類学と細菌同定 10. 病原体取扱の指針および実際 11. 薬剤耐性（AMR）対策アクションプラン 12. 新興感染症・再興感染症の実際（1） 13. 新興感染症・再興感染症の実際（2） 14. 細菌叢と疾患（1） 15. 細菌叢と疾患（2） 				
評価方法 (基準等)	レポート（70%）、口頭による質疑応答（日本語・英語）（30%）、及び出席状況（2/3 以上の出席日数）による総合評価				